

## (臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

当院における急性胆嚢炎に対する内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージの現状

### [研究責任者]

江南厚生病院 消化器内科 小阪亮介

### [研究の概要]

胆嚢炎に対する治療として、種々の理由により手術困難な場合の治療、あるいは手術までの待機期間の治療法として PTGBD (経皮経肝胆嚢ドレナージ) や ETGBD (内視鏡経乳頭的胆嚢ドレナージ) が行われています。中でもチューブ管理が基本的に不要な ETGBD の有用性が示唆されており、当院における ETGBD 治療の現状を調査します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2019年1月から2022年12月までに、急性胆嚢炎に対して ETGBD あるいは PTGBD を行った患者さん。

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、入院期間、胆嚢炎重症度、血液検査所見(CRP, WBC 値)、抗血栓薬内服歴、既往歴、手技成功率、偶発症発生率、再発率、退院先等。

### [個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 消化器内科 小阪亮介

電話 0587-51-3333